

なほな

【めざす子どもの姿】

いきいき 学び合う
のびのび 認め合う
力いっぱい 鍛え合う



冬は縄跳び

冬季の体育では、「縄跳び」に挑戦しています。【両足跳び 10 回】などの 20 級から始まり、【前二重跳び 100 回】や【後ろ三重跳び 15 回】の五段が最上位。友だちや先生に数えてもらいながら、それぞれが目標をもって取り組んでいます。



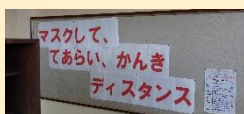
体育の時間だけでなく、休み時間も練習に励む児童の姿も。

[illegible]

できた技の
回数のマスを
塗って、上の
級・段をめざ
します。



マスクして手洗い・換気・ディスタンス



新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、1月21日～31日までの間、臨時休業としました。2月1日に登校する児童を迎えるため、消毒液ボトルに直接つける自動噴霧器を各教室や昇降口に備えたり、生活の注意を呼び掛ける標語をつくったりして、一層の注意を喚起しました。

休業の間、子どもたちも家庭で「我慢」の時間だったと思います。学校では、子どもがいない寂しい教室でした…。



「ろうかを歩こう」生活目標

廊下を走ってしまう…。いつの時代でも学校生活の課題ですが、3 学期、児童会の活動で生活目標として掲げ、取り組んでいます。ここまでは、よくある姿ですが、「交通安全指導」のように、役員の児童が休み時間返上で、廊下に立って注意を呼び掛けています。

走らずに歩く姿も多くなりました。子どもどうしの取り組みが功を奏し、やればできる！

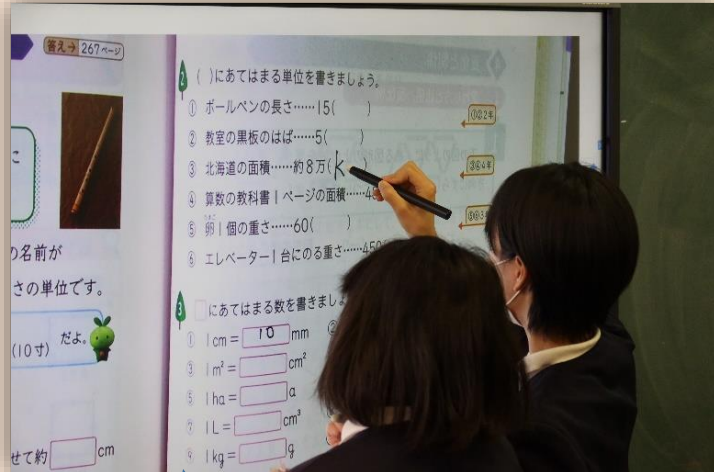


書ける!! 電子黒板

1月の終わり、休業期間中でしたが、教育委員会で導入が予定されていた電子黒板が5年・6年教室に入りました。今後、年次計画で全学級に導入される予定です。

これまで、各教室に設置した大型モニターに、実物投影機やパソコンの映像を映す、という提示しかできませんでしたが、電子黒板は、直接画面に書ける・描ける!! また、これ自体がタブレットのようにネットの情報にアクセスしたり、児童のタブレット画面を映したり、問題の解答や意見の集計をすることもできるようになり、活用の幅が広がります。しかも、これまでのモニター画面より一回り大きく明るく映り、使った児童たちも興味津々です。

使いこなすためには、教員の習熟も必要となります。子どものいない教室で、ネット上のコンテンツの呼び込み方や画面操作の仕方など、あれこれ探りながら効果的な使用方法を身に付けています。



読み聞かせ…

6年生が1年生の教室に出向き、「読み聞かせ」活動をしました。

読んでもらい、お話に夢中になった1年生。卒業前の思い出となった6年生です。



【校内寸描】



校内の書初め展示は、当初1月の学習公開日までとしていましたが、臨時休業で実施できませんでしたので、2月の学習公開日(2月22日)まで各教室近くの廊下に掲示しています。ぜひご覧ください。

【編集雑記】 新型コロナウイルスの感染症の拡大が気がかりで、予防に余念のない日々ですが、季節性インフルエンザが話題にならないのが幸いです。目に見えぬ相手ですので、気が抜けませんが、基本的なマスク・手洗い・換気で、感染症を防ぐこともできる。という思いにもなります。

30数年前、駆け出しの中学校社会科教員として、OHPなる教材提示機器を使っていました。どんどん新しい機器が登場してきて、今はその機器は見る影もありません。授業のあり方も日進月歩です。教員として、学び続けることの大切さを改めて感じます。

文責・校長 舟木志郎

□ご意見・ご要望は、電話 88-2629 FAX 88-3193 mail: to-nimas@ed.iwamigin.jp でお待ちしています。

□カラー版を仁摩小学校 HP (https://www.ohda.ed.jp/schools/es/nima_es/) に掲載しています。